



No.82

2026年7月17日発行

発行：美里高校PTA 広報委員会

美里

輝け!!美里高生

R8年度 県高校総体 卓球 (女子) 個人

県ベスト8



西向 陽菜 (3年)

3. 卓球の魅力はどこなところですか？

卓球の魅力は、技術や戦術、メンタルなど多くの要素が関わる奥深さだと思います。

特に、一瞬の判断や相手との駆け引きが勝敗を左右するところが面白く、努力した分だけ成長を実感できます。

また、サーブの回転やコースを工夫したり、相手の回転を読み取って対応したりするなど、わずかな違いが勝敗を分ける繊細さも卓球ならではの魅力だと思います。



今後の目標は、部活動で身につけた諦めずに継続する力やコミュニケーション能力を大学進学後にも活かすことです。

大学では、勉強や新しいことへの挑戦にも積極的に取り組み、部活動で培った経験を活かしながら自分自身をさらに成長させていきたいです。

2. 今後の目標があれば教えてください。

県高校総体でベスト8という結果を残せた1番の理由は、周りの方々の支えがあったからです。顧問の先生が多くの練習試合を設けてくださったおかげで、他校の選手と交流しながら技術を磨くことができました。

また、学校の先生方や友達・家族・他校の選手の皆さんの支えや応援が大きくなりました。

そして、自分自身もベスト8という目標を持ち続けて練習に励み、本番で悔いのないプレーができたことが結果につながったと思います。

1. 県高校総体「卓球」競技 女子個人シングルス ベスト8 達成おめでとうございます。

今回の成績を残すことができた1番の理由は何だと思っていますか？

第14回沖縄県高校生 郷土芸能ソロコンテスト (舞踊部門)

山城 美夢 (3年)

金賞受賞及び県立芸大賞



琉球舞踊だけではなく、他にも三線、琴、太鼓、エイサー、沖縄には数多くの郷土芸能がありふれていると思います。

郷土芸能は、昔の人から受け継がれてきた大事な文化であり、誰かが受け継いでいかないと消えてしまうようなものだと思います。

特に琉球舞踊の魅力は、代表的な紅型を身にまとい、すこくキレイで鮮やかな着物であり、その着物でキレイにお化粧をして踊る「四つ竹」に琉球舞踊のキレイな所が詰め込まれていると思います。観光客などにも、沖縄にはこんな伝統芸能があると見せることができるので、沖縄の郷土芸能は、本当に奥深く、言葉に表すのが難しいくらい魅力があると思います。

3. 今後の目標があれば教えてください。

まずは8月に国立劇場おきなわで行われる「かりゆし芸能公演」で、一人踊り、そして、金賞受賞した方との創作舞踊、この公演は今回のソロコンテストで金賞を受賞した人だけなので、金賞を取った自覚として、恥のないように成功して、これからの舞踊の道につなげられるように頑張っていきたいです。

そして、3年後の20歳の時に、琉球古典芸能コンクールで最高賞に受験できるので、最高賞に向けて、一歩ずつ精進し、頑張っていきたいです。

2. 郷土芸能の魅力はどのような所にありますか？

1. 第14回沖縄県高校生郷土芸能ソロコンテスト (舞踊部門)「金賞」及び「県立芸術大学賞」の受賞おめでとうございます。舞踊を始めたきっかけは何ですか？

3歳の頃に親戚の結婚式にて、幕開けのかぎやで風を見て、「みーゆーもやりたい」と言っていたらしく、物心ついた時から舞踊が好きでいたというのがきっかけだと思います。自分では、はつきりと覚えていないので、お母さん、おばあちゃんから聞きました。

新入生歓迎

球技大会

4/24(金)



1年生



2年生



3年生



平和 6/12(金) 学習 フィールドワーク

今年の「慰霊の日」に先立ち、全学年で平和学習フィールドワークに行ってきました。生徒たちが真剣に歴史と向き合い、学びを深めた1日の様子をご報告します。

◆ 1年生: 歴史を肌で感じ、深く考える

6月12日(金)、美里高校の1年生は、平和学習フィールドワークを行いました。当日、地域ガイドの『風の会』の比嘉涼子さんのお話を聞き、その後バスに乗って読谷村のチビチリガマ・シヌクガマでの平和学習に臨みました。

◆ 2年生: 資料から学び、受け継ぐ決意

2年生は、糸満市の沖縄県平和祈念資料館および平和の礎を訪れました。展示された貴重な遺品や凄惨な記憶を伝える資料の前に、生徒たちは真剣な眼差しでワークシートへの記入を行いました。

◆ 3年生: 自ら取材し、発信する力を養う

最高学年である3年生は、沖縄県立博物館を訪れました。行きのバス車内で事前学習を行った後、常設展示室（近現代セクション）や屋外展示を巡回し、ワークシートを用いた取材活動に臨みました。

春の遠足

1年生

宇堅ビーチ



サンセットビーチ

2年生



3年生

県総合運動公園オートキャンプ場



美里高校分教室では、5月25日～6月5日に「前期 就業体験（校内・校外）」が行われました。生徒一人ひとりが、卒業後の就職や自立に向け「働くこと」に真剣に向き合う、大切な期間となりました。

◆ 2・3年生：校外就業体験

各企業や福祉サービス事業所での実習に参加し、実際の就労を体験しました。社会で働くマナーや態度を意識し自分の力と課題に向き合う貴重な経験となりました。



沖縄トヨタ トヨタタウン松本



ニューラッキーランドリー



ビッグワン本社



沖縄美装管理 (中部病院)



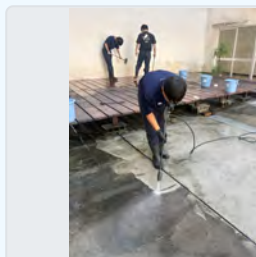
特別養護老人ホーム 森城



ザ・ビッグ田場店ベーカリー

◆ 1年生：校内実習

高等部に入って初めての实習。職業の心得（あいさつ・身だしなみ・報連相など）を意識しながら、作業をやり遂げる粘り強さを身につけ、働くことの基礎を学びました。



環境整備（中庭清掃）



環境整備（テーブルふぎ）



販売会（ドリンク）



販売会（農作物）



リメイク缶作り・多肉植物



靴箱作り

編集後記

「片利共生」

沖縄の有名な水族館で泳ぐジンベエザメ。その周りには、いつもコバンザメやブリモドキ、シマアジなどの小さな魚と一緒に泳いでいます。これらの魚たちは、ジンベエザメの近くで泳ぐことで餌のおこぼれをもらったり、外敵から守ってもらったりと恩恵を受けていますが、ジンベエザメ自身にはこれといった利益はないそうです。

これを「片利共生（へんりきょうせい）」と呼ぶそうです。どうしても損得勘定で考えてしまう私たちからすれば「どうして？」という疑問が湧いてきてしまうのですが、当のジンベエザメは悠々と、とても楽しそうに泳いでいます。見返りを求めず、誰かのために生きる。体も心も大きなジンベエザメの姿から、私たちは学ぶことが多くありそうですね。

美里高校広報誌「美里」編集長 仲田 雅哉